学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築デザイン実習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主編成資料						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物の設計に必要な表現力や立体造形力を養うための４つの実習課題を設定しています。
・建築の研究：世界の建築・建築家の発表
・住宅模型演習：自身が設計した２階建て住宅の模型製作
・オフィスビル設計デザイン：CADを用いた設計

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各課題とも事例研究や、建築表現における新しいアイディアや材料加工の学びをとおして、建築を総合的に考えられる能力と態度を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
実習で使用する道具・器具の使用法に関する知識と技術を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
課題制作をとおして建築物を表現する技術を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各実習に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、社会における建築の意義や役割を理解している。	各実習に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識・技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	各実習の内容について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に各実習を学ぶ態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	建築の研究	・世界の建築・建築家のスタディと発表 ・プレゼンテーション基礎と方法 ・著作権における写真や文章の引用について ・プレゼンテーションボード作成 ・プレゼンテーション	a:各有名建築物や建築家のそのときの時代背景やその評価についての知識やプレゼンテーション技術・資料についてその引用方法についての基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。 b:各有名建築物や建築家のそのときの時代背景やその評価について、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に表現する創造的な能力を身に付けている。 c:建築のその時代に応じた動向に関心を持ち、その時代の建築表現のありかたや考え方の修得をめざし、主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	・学習状況の観察	・課題の完成度	・課題の進捗状況・課題の提出状況
通年	住宅模型演習	自身が設計した２階建て専用住宅の模型用図面の作成白模型による部品の取り合いのスタディ材料の選定模型製作	a:建築模型の応用技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b:建築模型に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、応用し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c:建築模型について関心を持ち、その技術の習得をめざし主体的に取り組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	・学習状況の観察	・課題の完成度	・課題の進捗状況・課題の提出状況
	オフィスビル設計	・オフィスビルの設計 コンセプト立案 配置計画・ブロックプラン 関連法規チェック ・CAD図面作成 図面レイアウト立案・入力	a.事務所ビルに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会に対する建築物の意義や効果を理解し、設計者としての意義や役割を理解している。また、それを適切に人に伝える技能を活用し、表現できる。 b.事務所ビルに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識をもとに実践的な事例に対して設計者として適切に判断し表現する。創造的・合理的な能力を身に付けている。 c.事務所ビルに関する課題について主体的に取り組もうとしている。	学習状況 の観察	課題の 取組状況	課題の進捗・提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度